

第 2 回 都市づくりのグランドデザイン庁内検討委員会(平成 29 年 5 月 11 日) 議論のまとめ

1 委員長挨拶

会議の冒頭に、委員長（都市整備局技監）から以下のような発言がありました。

- 第 1 回検討委員化で頂いたご意見を踏まえ、2040 年代に向けた未来感を出せているか、分野横断的な取組となっているかなど全体のバランスを見ながら、素案を取りまとめた。
- また、知事からも以下のご指摘を頂いており、本日ご意見を頂くとともに、素案公表までの間に別途、関係する部局とは個別に調整させていただきたい。
- 1 つ目は、「E S G」という言葉と考え方を盛り込んでほしいというもの。「E S G」とは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字をとったもので、世界の大きな流れとなりつつある。グランドデザインの中でも、持続可能な発展について、全体を貫く形で考え方を強調していく。
- 2 つ目は、「緑を守る、生み出す」ことを分かりやすい言葉で大きく打ち出してほしいというもの。
- 最終案には、具体的な数値目標を盛り込むことも考えており、この場での議論に加えて、別途立ち上げている「みどりの保全・創出及び活用に関する検討委員会」においても、このことを念頭に置き、検討を進めてほしい。

2 議事

1)「都市づくりのグランドデザイン行政計画（素案）」について

第 1 回検討会の「都市づくりのグランドデザイン（たたき台）」に対する各局からの意見を元に、加筆修正した箇所等について説明した上で、都市づくりの 7 つの戦略に沿った具体的な取組について意見交換を行いました。

意見交換では、現在各局が取り組んでいる施策との関連性や取組みの記載の考え方などについての議論を行いました。

2)「今後の進め方」について

事務局から、「都市づくりのグランドデザイン」の策定の流れについて、5 月中旬以降を目途に素案を公表した上で、パブリックコメント等の意見を反映した案を作成し、第 3 回検討会の実施、夏頃を目途に策定・公表を進めることについて、説明しました。